

平田容疑者 14年以上大阪にいた



今になって平田容疑者の目撃証言が多数出てきた

午前3時すぎ大崎署へ
元女性信者は、平田容疑者と面会を続ける滝本太郎弁護士とこもに午前3時すぎに大崎署に現れ、元教団看護師を名乗り「平田容疑者」をかまっていたと話した。滝本弁護士によると「平田容疑者」14年以上大阪府内に潜伏していたという。同容疑者から元女性信者が大阪市にいることを聞いた滝本弁護

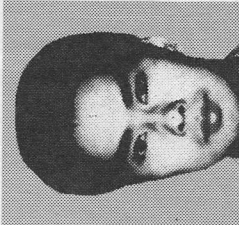
士が、同市まで女性を迎えに行った。元女性信者は有印私文書偽造・同行使や医師の元信者に逃走資金を渡したとされる犯人隠避容疑で指名手配されていたが、2000年までにいづれも公訴時効が成立している。だが、警視庁は平田容疑者の逃走を手助けした犯人隠避の疑いで取り調べ、容疑が固まり次第逮捕する。これまで口を割らなかった平田容疑者の逃亡生活が解明されそうだが、それにしても「出頭時の行動が不自然」というのは荒木氏だ。「衣服のダダを外し、潜

けき添われて警視庁大崎署に名乗り出た。これで17年にわたる逃亡生活の大半が解明されそうだが「それ」にしても行動が不可解」と首をかしげるのはバウンティハンター(懸賞金稼ぎ)で米FBI(逃亡者逮捕連行捜査官)の荒木秀一氏(48)だ。同氏が平田容疑者をプロファイルした。

元オウム信者49歳看護師14年以上一緒に大阪にいた

他の指名手配容疑者の懸賞金獲得チャンス?

平田容疑者の逮捕で風化しかけていた他の指名手配の高橋克也(53)、菊地直子(40)の面談容疑者の関心も高まっている。平田容疑者には、その発見に500万円の報奨金がかけられていたが、適用されなかったことで、残る2人の報奨金の額が上がることも予想されるが、一般市民がダブトするチャンスはあるのか。「高橋容疑者が国内に潜伏し、平田容疑者の出頭が予想外だったとすれば、今いる場所も不安に



高橋克也



菊地直子

感じる」と荒木氏は潜伏先を移動する可能性を指摘する。「昨年、逃亡犯を捕まえた賞金稼ぎの1人づかあったが、素人が手を出すのは危険。市橋(達也)被告リレーさん殺害事件(控訴中)は使用しなかったが、拳銃型催涙スプレーを持っていた。相手は凶悪事件を起こしたオウム犯。カッとなって捕まえるなどしては考えずに通報するだけにしたい」と(荒木氏)と「わがバウンティハンター」に警鐘を鳴らした。

伏先が判明しないように工作している一方で、車ではなく交通機関を使っているのが、防犯カメラの映像がホロホロと出ている」ほかにも捜査がく乱を狙ったのかリュックサックは、17年前の逃亡時のもので、既に使用できないハイウェイカードも所持していた。また大阪の御堂筋線・新大阪駅に出る新幹線で上京しているが、整形していないうえにニット帽に眼鏡、マスクを付けてただけだった。「眉毛を細くし、髪が茶色で長くなっただけで顔全体の輪郭や目つきは17年前と変わっていない。もし私が太めとか、目に遭遇していたら見た目が不審ですし、声をかけていたかもしれない」(荒木氏)結果的に丸の内線に出頭となったが、大阪市内や新幹線車内、東京都内

の移動時に一般人や鉄道職員らに通報され、大捕物の事態になっていたもおかしなかった。一連の不可解な点から荒木氏は「平田容疑者自身はあまり手ごたえを感じていない印象を受ける。ただその指し役も用意周到で、わげなく、素人的で決して頭が良とはいえない。今後、足がつかない」と推測しているが、果たして。(小林宏隆)

バウンティハンター荒木氏が平田容疑者の出頭劇を分析